

3・2本社前集会開催！

「正社員化署名」過去最高の28426筆提出

正社員化と均等待遇の実現を訴える！！



本社前集会の様子



署名提出後の報告

3月2日、東京・霞が関の日本郵政本社前において、「郵政非正規労働者の正社員化と均等待遇を求める」本社前集会が開催され、全国から200名を超える仲間の参加がありました。

集会では、大阪の期間雇用社員の組合員から『現在交際している女性との結婚を考えているが、この賃金では結婚に踏み切れない！』との発言もありました。

札幌支部からも、期間雇用社員の組合員が北海道の代表として参加しました。

集会に先立って、中央本部の松岡副委員長と全国から参加した期間雇用社員の仲間が本社の中に入り、それぞれ一言ずつ述べたうえで本社の担当者に「非正規労働者の正社員化と均等待遇を求める署名」28426筆を手渡しました。



集会終盤のシュプレヒコール



あいさつする日巻委員長



本社前集会の様子



院内集会の様子

院内集会でも全国各地の仲間が力強い訴え

本社前集会後には、衆議院第2会館において院内集会が開催され、郵政産業労働者ユニオンの仲間と共に、民主党から1名、日本共産党から3名の議員も参加しました。

全国各地から参加した期間雇用社員のうち、30名が短い時間の中でそれぞれの訴えをしました。

参加した仲間からは、『軽微な交通事故で戒告処分された』『スキル評価や正社員登用試験の公平性に対する不信感がある』『期間雇用社員がミスをするとうちをたたいて怒鳴られる』など、現場で働く者の生の声が報告されました。

札幌支部の期間雇用社員の組合員は、『スキル評価のフィードバックの時に、副部長から「正社員になりたいか?」と聞かれ、「なりたい」と答えたら、「正社員以上の営業をやれ」と言われた』と訴えました。